



急激に視力が...

はく ない しょう

ましがして白内障？

白内障と聞くと、老化に伴って発症する疾患が真っ先に浮かぶのではないのでしょうか。また、ゆっくり進行するイメージがありませんか？でも、原因によっては急激に視力が落ちたり、進行度が早い白内障もあるのです。今回は「症状の進行が早い白内障」についてお話しします。

白内障の原因の多くは加齢性

白内障の6〜7割は加齢性のものです。

身体が老化するように、目の機能も老化します。症状は次第に進み、視界や視力に強く違和感を感じるようになって受診されるケースが多いようです。

では残りの数割は何が原因なのでしょう？

あまり知られていませんが、白内障は次のような原因によっても引き起こされることがあります。

- ①目のケガ
- ②疾患の合併症
- ③紫外線や放射線、特定の薬剤

水晶体とは

白内障には、加齢性以外にも引き起こされる原因があることを挙げましたが、そもそも白内障とは、

目のどこにどんな異常が起こる病気なのか。角膜の後ろにある、透明で丸い凸レンズのようなものが水晶体です。

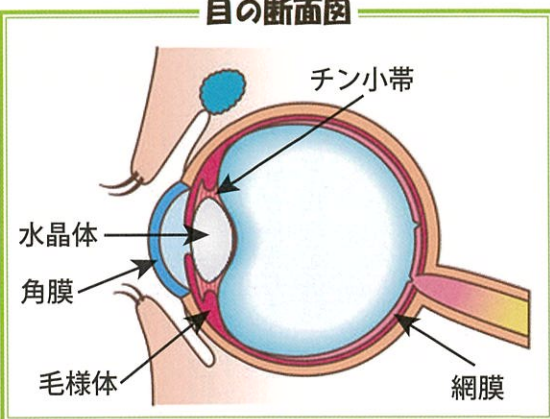
光源のない真っ暗な空間では私たちは何も見えません。けれども光源があると、波長の違う（この波長の違いが色の違いになります）さまざまな光が水晶体を通して、網膜でひとつの情報になることで、はじめて私たちは「何かが見える」と感じることが出来ます。

また、遠方や近くのモノを見る時に、瞬時にピントが合うのも水晶体のおかげです。チン小帯で支えられている水晶体は、毛様体に引っ張られたり、緩めたりすることで厚みを変え、焦点を合わせる

仕組みになっています。

水晶体が柔軟に厚みを変えられるのは、水晶体が水とクリスタリンというたんぱく質からできたやわらかい組織だからです。

目の断面図



白内障とは

白内障の起こるはつきりしたメカニズムはまだわかっていませんが、前述の水晶体のなかのたんぱく質が変化して濁ってくるために、ものが見づらくなる、視界がかすんだりモノが2重に見えたりするつまり視力が低下すると考えられています。

例えば窓ガラスが汚れると、その部分が見づらくなります。水晶体の濁りも、端のほうで生じるか中央に生じるかで、初期では、目の異常に気づかないこともあります。

加齢以外の原因で白内障が起こるケース

加齢性の白内障は早くても40代くらいから生じますが、前述の①②③のケースでは、発症年齢を問いません。

①の場合は、ケガによって目の組織が傷つくことで起こります。この場合は、医師とともに経過を見て、治療を行います。

③の場合も、特定の治療や服薬によって起こるため、発症可能性

かすんでる?



について事前説明などもあるでしょう。発症した場合も早期に気づきやすいといえます。

では、②の疾患の合併症として生じる場合はどうでしょうか? 実は「アトピー性皮膚炎」や「糖尿病」で白内障が合併症として起こることがあるのです。

【アトピー性白内障】

どうして、アトピー性皮膚炎になると白内障を合併しやすいのかは、わかっていません。けれどもアトピー性皮膚炎の患者さんの15%前後は白内障を合併するといわれています。

特に顔周辺に症状があると、かゆみから就寝中に目を頻繁にこすったりすることで、水晶体に影響が及ぶことが、発症の一因では

と考えられています。

10代でも発症するため、アトピー性皮膚炎の患者さんは、急激に視力の低下を感じたらすぐにかかりつけ医に相談しましょう。進行が早いことが特徴ですが、片目にだけ発症すると気づきにくいこともあるため、時々自身でも目のチェックを行なうとよいでしょう。

【糖尿病白内障】

糖尿病の患者さんは、血糖値が高い状態が続くと、白内障を合併することがあります。症状が急激に進むため、異変に気づいたらすぐに対策をとるようになります。

白内障の治療

早期の場合は、点眼薬などで経

過をみる場合がありますが、根治はできません。また合併症で生じた白内障により急激に症状が進んでいる場合は失明の恐れもあるため、手術を検討することになります。

手術自体は、角膜を切開し、内部の水晶体を破砕して人工の眼内レンズと取り換えるという、通常ならば30分程度で済んでしまうものです。

けれども、持病の合併症として白内障が生じている方は、非常にデリケートな処置が必要になる場合もあるため、より時間をかけた手術が行なわれることもあります。日頃から、視界や視力の変化に気をつけ、異変を感じたらすぐにかかりつけ医に相談するようにしましょう。

白内障が起こるケース (加齢以外)

目のケガ

紫外線や薬剤

アトピー性皮膚炎

糖尿病